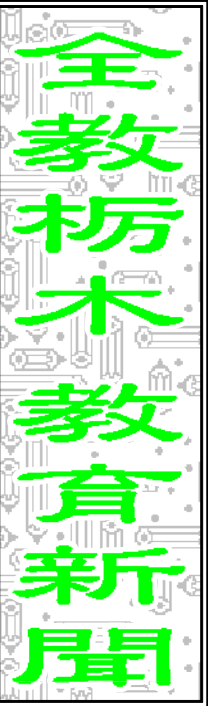


パワー・ハラスメントのない職場にしたい!



発行
全栃木教職員組合
 宇都宮市兵庫塚3-10-30
 TEL 028-653-0353
 FAX 028-653-1579
 http://
 www.zenkyotcg.org
 E-mail
 info@zenkyotcg.org

子ども参加、父母共同の
 学校づくりを
 長時間過密労働をなくそう
 教員免許更新制を廃止せよう

2012年になりました。新年早々から、公務員賃金削減や消費税増税など私たちの生活の土台を揺るがしかねない政策が議論されています。増税を国民に納得させるために公務員の賃金を削減する、そんな目的のために、どうして私たちの生活が犠牲にされなければならないのでしょうか。

栃木県教育福祉振興会（振興会）から、『教職員のための最新メンタルヘルスアドバイス』が配布されました。この冊子ではパワー・ハラスメントについて今までよりも言及したのものになっています。ぜひ職場で話し合ってみてください。

パワーハラは 自覚できない

この冊子ではパワー・ハラスメントについて、「パワーハラは攻撃される本人だけでなく、それを

聞いている周囲までが萎縮し、学校全体をストレス状態に落とし入れ、人間関係を悪化させる大きな要因」になると指摘されています。この指摘どおりということになると、これは個人の問題として

考えてはならず、職場全体で考えていかなければならない課題ということになります。

「パワーハラ」の多くは『指導のつもり』や『昔自分もこうやって育てられた』という気持ちからかもしれないとし、自分の行為がパワーハラになるのか、自覚できない危険さも指摘しています。

長時間労働の強制も パワーハラ!

右下の図は冊子で紹介している「パワーハラの特徴」です。1から6まで

ゆきとどいた教育を求める知事・教委宛署名

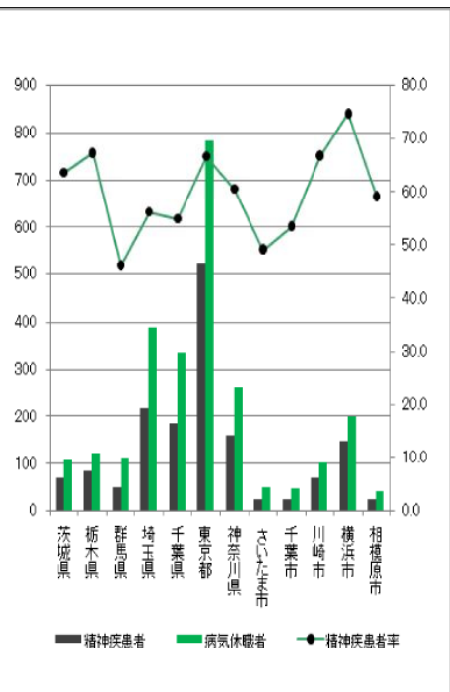
全栃木教職員組合が今年度も取り組んだ「ゆきとどいた教育を求める要請」署名は2682筆を集約し、1月5日に県教委に提出しました。



署名を提出する馬籠全教栃木執行委員長（左）と、受け取る金井正教職員課長。

今回の署名では30人学級の実現や教職員の増員などに加えて、定員割れした高校での追加募集などを行うことも要請項目に加えています。

同時に集めた国会宛署名は、栃木県私立高等学校教職員組合連合（栃木私教連）の署名と合わせて提出します。



左のグラフは10年度の病气休職者の状況をまとめたものです。栃木県はこれまでも病气休職者に

は、これまでも言われてきたパワーハラにあたりますが、これには7として「時間外労働やサービス残業を強制する」こともパワーハラとしています。

<パワーハラの特徴>

- 1 人格を傷つける言葉で、長時間ねちねちと叱責・非難する
- 2 人前でこきおろしたり嘲笑したりして、孤立させる
- 3 困難な課題や仕事を与え、できないことを非難する
- 4 仕事を与えず、出勤しづらくする
- 5 継続的に無視をする
- 6 ミスを部下に転嫁する
- 7 時間外労働やサービス残業を強制する



教員採用試験学習会を開催します

日時 2012年2月18日（土）13時30分～17時
 会場 宇都宮市文化会館第2会議室
 内容 合格者の体験談と学習について
 ※資料代 500円
 参加を希望される方は、E-mailでお申し込みを。